

専科の実践

令和6年度 家庭科「共に生きる地域での生活」

【育成を目指す創造的な資質・能力の素地】

家族の一員として地域の人々と、よりよく関わっていくための実践を通して、学習を振り返って学習状況を把握し、次の問題発見・解決につなげていこうとする態度を養う。

知る

①相手意識をもって取り組むための単元設定

地域行事の開催者の思いを知り、相手意識をもてるようにするためにゲストティーチャーとして保護者をお招きし、実際の地域の行事や取組に関する話を、より詳しく知ることができるようにする。



やって
みる

②「人・もの・こと」と関わり探究する学習の流れの工夫

これからも続けていけそうな取組や、中学生になってから自分がどのような関わりができるかなどについて、長期休み等の課題として試行錯誤し考え実行し、地域の活動に生かせるよう、ワークシートを掲示する。

行事	時期	内容	参加したい理由	やりかた	感想
緑いん	7月	テールの水で遊んで水遊びをする。	暑い時期だから涼しくなれたら楽しそう	なし	おもしろいけど、お水が汚れたらどうしようか？
大田文化の祭	8月	大田文化の祭の中でお祭りをやる。	昨年行けて楽しかったから、今年も行きたい。	なし	おもしろいけど、お祭りが終わったらどうしようか？

見つける 考える

③自他のよさに気付かすための話し合いの場の設定

「地域の関わりプロジェクト」の計画を、児童同士(3人もしくは4人グループ)で交流することで、友達の考えのよさを自分の考えにつなげて、これからの地域での活動に生かせるようにする。



考える やって
みる

④多様な表現や関わりを生み出す ICT の活用

ムーブノートを使い、友達の意見をタブレット端末上でも自由に閲覧できるようにすることで、情報共有しやすくする。また、毎時間振り返りをムーブノートに書くことで、自分の考えを整理しやすくする。



学習効果を高めるために連動して実施する教育活動「みらいタイム」

教科等で学習している内容や、児童の興味・関心に合わせた題材をテーマに、月に一度、朝学習の時間に「思考ツール」を使って情報や考えを整理する学習活動を行ってきた。

【活動例】

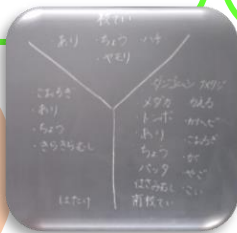
低学年

- ・イメージマップ
「夏を感じるもの」
- ・Xチャート
「春夏秋冬の特徴を見付けよう」
- ・Yチャート
「生き物はどこに住んでいる？」
- ・くま手図
「野菜の様子を観察しよう」

など

Yチャート 生活科と関連

身の回りの生き物がどの場所で見られるかを整理し、共通点や相違点を比べた。



中学年

- ・ベン図
「教科の違うところ・同じところを見付けよう」
- ・クラゲチャート
「好きな季節とその理由を伝えよう」
- ・フィッシュボーン
「ペットを飼うなら何がいい？」
- ・コンセプトマップ
「山王の町のよいところ」

など

フィッシュボーン 興味・関心に
合わせて

「もし、ペットを飼えるとしたらこんなペットがいい！」を想像し、自分の考えに対する理由と根拠を整理した。



高学年

- ・P&Sシート
「ソーラン節をカッコよくするために」
- ・座標軸
「食べ物を分類しよう」
- ・PMIシート
「運動会の表現をよりよくするために」
- ・ピラミッドチャート
「とうぶ移動教室に向けて」

など

座標軸

おたの
未来づくり
と関連

様々な身近な食べ物を「歯ごたえ」「味」「色」「価格」等の観点から捉え、比較分類した。

